

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名 株式会社ビーイング 上場取引所 大  
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)末広 雅洋  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)後藤 伸悟 (TEL) (059) 227-2932  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	876	8.1	50	—	52	—	42	—
23年3月期第1四半期	811	△14.5	△36	—	△30	—	△68	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 38百万円(—%) 23年3月期第1四半期 △42百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	5 36	—
23年3月期第1四半期	△8 73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,171	1,742	41.8
23年3月期	4,114	1,704	41.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,742百万円 23年3月期 1,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,670	0.5	60	—	65	—	85	—	10 81
通期	3,400	4.5	150	—	160	—	200	229.6	25 42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	8,257,600株	23年3月期	8,257,600株
24年3月期1Q	391,240株	23年3月期	391,240株
24年3月期1Q	7,866,360株	23年3月期1Q	7,866,360株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がそのまま営業利益に反映するという特徴があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災により一時的に大きな打撃を受けましたが、当初の想定よりも早いペースで製造業の生産が再開されるなど、立ち直りをみせております。しかしながら、原子力発電所の事故や電力供給不足に対する懸念から先行き不透明感が残っております。当社の関連する建設業界においては、震災からの復旧、復興のための工事の増加が期待されておりますが、当四半期においては、本格的に立ち上がるには至っておりません。

そのような状況の中、当社グループでは、主力商品である土木工事積算システムにおいて地域ごとの顧客ニーズに即した商品開発を進めてきたことが評価され、販売の増加につながりました。また、グループ会社相互の販売網を通じて互いの商品を販売するなどの取り組みを通じて新たな顧客の開拓や流通網の効率的な活用に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は876百万円と前年同期に比して65百万円(8.1%)の増収となり、経常利益は52百万円(前年同期は、経常損失30百万円)となりました。

四半期純利益については、前年同期にあった有価証券評価損(34百万円)がなかったことなどから、42百万円(前年同期は、四半期純損失68百万円)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

#### ① 建設関連事業

建設関連事業につきましては、地域ごとのきめ細かいニーズに即した製品開発を推し進めた結果、東北地方における販売は震災前の水準に回復していないものの、西日本を中心に販売を拡大いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して10.4%増加し693百万円となり、セグメント利益は34百万円(前年同期は、セグメント損失47百万円)となりました。

#### ② 設備関連事業

設備関連事業につきましては、主力の設備CADソフトの販売において、ほぼ前年同期の水準を確保したものの、その他の取扱商品が減少したことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して0.1%減少し183百万円となりました。一方、セグメント利益は、コスト削減の効果もあり21百万円(前年同期は16百万円)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産において現金及び預金が219百万円増加し受取手形及び売掛金が134百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて57百万円増加し、4,171百万円となりました。

負債につきましては、買掛金が12百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて19百万円増加し、2,428百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益42百万円などにより、前連結会計年度末に比べて38百万円増加し、1,742百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.4ポイント増加し、41.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて319百万円増加し、1,067百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は222百万円（前年同四半期は18百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益50百万円や売上債権の減少134百万円などによる収入があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動により獲得した資金は96百万円（前年同四半期は60百万円の支出）となりました。これは、定期預金の払戻による収入100百万円（純額）などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は0百万円（前年同四半期はありません。）となりました。これは、リース債務の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移したため平成23年5月13日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,298,235	1,517,344
受取手形及び売掛金	578,039	443,823
有価証券	716,437	715,601
商品及び製品	1,234	774
原材料及び貯蔵品	5,547	7,736
繰延税金資産	123,692	121,450
その他	22,402	19,919
貸倒引当金	△1,520	△1,620
流動資産合計	2,744,071	2,825,030
固定資産		
有形固定資産	245,278	243,059
無形固定資産		
のれん	372,924	367,647
その他	45,809	33,979
無形固定資産合計	418,733	401,626
投資その他の資産		
投資有価証券	367,049	363,851
その他	357,753	356,622
貸倒引当金	△18,544	△18,753
投資その他の資産合計	706,258	701,719
固定資産合計	1,370,271	1,346,405
資産合計	4,114,342	4,171,436
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	43,682	55,810
未払法人税等	20,556	6,010
前受収益	734,862	750,627
賞与引当金	103,069	57,396
その他	160,465	217,404
流動負債合計	1,062,635	1,087,249
固定負債		
退職給付引当金	295,039	299,340
役員退職慰労引当金	1,775	2,030
繰延税金負債	295	221
長期前受収益	1,046,173	1,036,395
その他	3,887	3,644
固定負債合計	1,347,171	1,341,631
負債合計	2,409,806	2,428,880

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	75,578	117,719
自己株式	△85,513	△85,513
株主資本合計	1,774,548	1,816,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△70,012	△74,133
その他の包括利益累計額合計	△70,012	△74,133
純資産合計	1,704,535	1,742,555
負債純資産合計	4,114,342	4,171,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	811,636	876,992
売上原価	266,722	237,827
売上総利益	544,914	639,165
販売費及び一般管理費	581,294	588,992
営業利益又は営業損失(△)	△36,380	50,172
営業外収益		
受取利息	5,804	4,660
受取配当金	132	132
その他	1,830	497
営業外収益合計	7,768	5,290
営業外費用		
支払利息	—	12
投資事業組合運用損	—	924
雑損失	1,447	2,101
営業外費用合計	1,447	3,038
経常利益又は経常損失(△)	△30,059	52,424
特別利益		
貸倒引当金戻入額	217	—
特別利益合計	217	—
特別損失		
固定資産除却損	136	1,181
固定資産売却損	122	—
有価証券評価損	34,060	—
投資有価証券評価損	—	1,120
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,099	—
特別損失合計	37,418	2,301
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△67,260	50,123
法人税、住民税及び事業税	4,233	5,755
法人税等調整額	△2,800	2,227
法人税等合計	1,433	7,982
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△68,694	42,141
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△68,694	42,141

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△68,694	42,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,077	△4,121
その他の包括利益合計	26,077	△4,121
四半期包括利益	△42,616	38,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△42,616	38,020
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△67,260	50,123
減価償却費	20,953	13,884
のれん償却額	5,277	5,277
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△217	309
賞与引当金の増減額(△は減少)	△57,077	△45,673
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,902	4,301
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	255	255
受取利息及び受取配当金	△5,937	△4,793
支払利息	—	12
有価証券評価損益(△は益)	34,060	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,120
投資事業組合運用損益(△は益)	—	924
固定資産除却損	136	1,181
売上債権の増減額(△は増加)	130,986	134,216
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,443	△1,728
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,210	12,128
未払又は未収消費税等の増減額	△40,846	15,876
前受収益の増減額(△は減少)	16,124	15,764
長期前受収益の増減額(△は減少)	△41,364	△9,778
その他	40,895	42,562
小計	29,233	235,964
利息及び配当金の受取額	5,827	5,029
利息の支払額	—	△12
法人税等の支払額	△16,225	△18,162
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,835	222,817
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△150,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	100,000	150,000
有価証券の取得による支出	△154	△90
有価証券の売却による収入	271	—
有形固定資産の取得による支出	△7,908	△1,043
有形固定資産の売却による収入	95	—
無形固定資産の取得による支出	△974	—
投資有価証券の取得による支出	△2,725	△2,099
敷金及び保証金の差入による支出	△1,357	△669
敷金及び保証金の回収による収入	1,904	610
保険積立金の積立による支出	△52	△174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,901	96,533
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	—	△242
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△242
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△42,066	319,108
現金及び現金同等物の期首残高	931,291	748,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	889,224	1,067,344

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	628,312	183,324	811,636	—	811,636
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	628,312	183,324	811,636	—	811,636
セグメント利益又は損失(△)	△47,114	16,010	△31,103	△5,277	△36,380

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成 23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	693,833	183,159	876,992	—	876,992
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,363	1,800	4,163	△4,163	—
計	696,196	184,959	881,156	△4,163	876,992
セグメント利益	34,023	21,426	55,450	△5,277	50,172

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。